

第4章 高齢者福祉計画

第4章 高齢者福祉計画

団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には、高齢者数がピークを迎えます。高齢化が進むことに伴い、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯数も増加傾向となります。

高齢者の生活を支え、自立支援を促し地域共生社会の実現を図るための各事業は、今後ますます重要性が高まります。高齢者を取り巻く社会状況等を見極め、高まるニーズに応じた施策の展開を図ることが求められます。

第1節 高齢者の自立を支える

1 在宅生活支援

(1) 配食サービス事業

おおむね65歳以上の生活支援が必要な一人暮らし高齢者等を対象に、地域ボランティアが月4回毎週指定日に自宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事の提供による健康増進と安否の確認を行います。

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数 (人)	74	59	58	60	65	70
配食数(食)	2,161	2,073	2,025	2,050	2,100	2,150



配食サービスの様子



栄養バランスのとれた手作りのお弁当

(2) 緊急通報システム設置管理運営事業

おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者等を対象に、ボタンを押すだけで消防本部に通報できる装置を設置し、本人及び家族の不安を解消します。

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数 (人)	123	115	110	110	115	115
新規設置台数 (台)	12	7	5	8	9	10

緊急通報システム本体

ペンダント



(3) 愛の定期便事業

70歳以上の一人暮らしの方を対象に、週に2回乳製品を配達し、安否の確認を行います。

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数 (人)	15	13	11	13	15	17
配布本数 (本)	2,808	2,078	1,752	2,000	2,250	2,550

(4) 心配ごと相談所運営事業

境町社会福祉会館の相談室を利用して、相談員が高齢者やその家族が日頃から困っていることや悩んでいること等についての相談を受けています。

◆事業の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度 見込み
相談者数(人)	8	13	9
開設日数(日)	51	44	19

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4月～9月、12月は中止

2 外出機会の促進・交通支援

(1) いばらき高齢者優待制度（シニアカードの配布）

65歳以上の方に配布しており、このカードを提示すると協賛店舗にて割引や優待が受けられます。高齢者の積極的な外出を促し、健康増進や引きこもり予防を目指します。

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
配布枚数 (枚)	131	72	100	130	140	150



(2) 福祉タクシー利用助成事業

在宅で生活している70歳以上の方を対象に、病院やリハビリ施設へ通う際に利用したタクシー料金の一部を助成します。(1回あたり600円、月の限度は3,000円。但し、人工透析を行っている方は12,000円)

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数 (人)	35	33	32	35	40	40

第2節 在宅介護家族支援（在宅で介護している家族を支える）

1 在宅介護家族支援

（1）介護慰労金（在宅介護慰労金・家族介護慰労金）

（i）在宅介護慰労金支給事業

要介護3以上と認定された高齢者（家族介護慰労事業対象者は除く）を在宅で介護している家族（介護保険サービスを受けていない人の家族）に介護慰労金を支給します。

支給金額：3万円

◆事業の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
支給者数（人）	12	11	2

（ii）家族介護慰労事業

重度の要介護認定者（要介護4、要介護5）で、1年間介護保険サービスを利用していない高齢者を在宅で介護している家族（住民税非課税世帯）に介護慰労金を支給します。

支給金額：10万円

※平成30年度以降実績無し

（2）在宅高齢者介護用紙オムツ購入費助成事業

要介護4・5と認定された在宅の高齢者で住民税非課税世帯に属し、紙オムツを常時必要としている者の紙オムツを購入するための費用を一部助成します。

寝たきりの高齢者等を介護している家族の、経済的負担を軽減する事業として、高齢者の在宅での生活の維持向上を目指します。

支給金額：2,500円×2枚/月（助成券を配付）

◆事業の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度 見込み
対象者数（人）	12	19	18

（3）介護マーク配布

介護している家族に向け、介護をしていることを、分かりやすく周囲に伝え、温かい目で見守ってもらうことを目的とし、介護マークを配布しています。



第3節 高齢者の生きがいづくり

1 生きがいづくり

(1) いきいきクラブ活動事業

いきいきクラブは、地域の高齢者によって組織されている相互扶助組織で、会員の意見（ニーズ）にもとづき、明るい長寿社会づくりや保健福祉の向上に努めることを目的として、様々な活動をしています。

身近な地域での活動や交流は、介護予防の場として高齢者の自立支援と重度化防止につながることから、今後も広報紙やパンフレット等を活用して新会員の加入促進を図るとともに、時代のニーズに応じた活動内容の充実を図ります。

◆いきいきクラブ団体数と会員数の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
クラブ数（クラブ）	38	38	38	38	39	39
会員数（人）	2,577	2,700	2,696	2750	2800	2850

(2) 高齢者スポーツの推進

スポーツは、心身の健康を増進させるとともに、仲間との交流を通して、喜びや生きがいにつながるという重要な役割を果たしています。

そのため、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ウォーキング等の各種スポーツ活動を支援するとともに、新しい種目も積極的に取り入れ、参加者の拡大を目指します。

また、毎年5月に高齢者ゲートボール大会を開催します。10月には全国の高齢者がスポーツと文化で交流を深める「全国健康福祉祭」の県予選会及び本大会に出場する代表選手団に対し支援を行います。

(3) 実年学級（生涯学習課）

シニア世代がよりよい人生を歩むために、常に自己を磨き、自立した生き方を目指します。そのために、有意義でバラエティーに富んだ講座の学習を通して相互のふれあいと学びを深めます。

(4) シルバー人材センター

シルバー人材センターは、就労を希望する高齢者に臨時的・短期的な仕事を紹介する組織です。

高齢者にとって、働くことは社会参加や生きがいづくり、閉じこもりの防止にも有効であると考えられています。高齢者の希望に応じた就労支援の充実を目指し、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度を見据えた体制づくりと情報提供に努めます。

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
登録者数 (人)	143	131	141	145	150	155

(5) 高齢者ボランティアの活動支援

高齢者自身も地域を支える担い手として、気軽にボランティア活動に参加できるようにする環境づくりを進めます。

また、介護予防・自立支援について、茨城県内で普及を進めるシルバーリハビリ体操指導士を始めとする介護予防ボランティア、一人暮らし高齢者等の見守りや家事援助を行う生活支援ボランティアの育成を支援します。

【境町ボランティアセンター 登録団体一覧】

団体名	
NPO 法人メダカの会	手話サークル「わたぼうし」
絵手紙 つばき会	整理ボランティア
高校生ボランティア clover	点字ボランティア
更生保護女性会	ナーレイ・ノハク・アロハ安井
国際交流友の会「さ・か・い」	ひまわり会
五ツ輪会	防災士の会
子守り唄グループ「ひばり」	松岡町防犯パトロール隊
境さわやかステップ	朗読ボランティア「すばる」
境町シルバーリハビリ体操指導士会	わーくすクラブ
境町心身障害児・者父母の会	

2 敬老事業

(1) 敬老祝金支給事業（85歳以上）

民生委員の協力のもと、9月の敬老週間に合わせ85歳以上の高齢者に、敬老祝金（3,000円）を贈り長寿を祝福するとともに、対象者の生活実態の確認を行います。

◆事業の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（人）	992	1006	1007

(2) 長寿をたたえる事業（70・88・100歳）

長年社会の発展に寄与してこられた高齢者に対し、長寿を祝福するとともに、広く町民の高齢者に対する理解と関心を高めるため、70歳、88歳、100歳の方に記念品を贈呈しています。

◆事業の実績

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（人）	70歳到達者	447	398	449
	88歳到達者	121	128	142
	100歳到達者	8	4	8

（お祝いの品）

70歳：健康長寿タオル

88歳：賞状・額・座布団またはクーポン券

100歳：賞状・額・祝い金1万円・記念品

(3) 敬老会事業（いきいき福祉大会）

多年にわたり、境町の発展に貢献されてきたシニア世代の方を敬い、健康と長寿をお祝いしています。



第4節 高齢者の健康づくりと介護予防

1 健康づくり推進事業

(1) 健幸マイレージ（健康推進室）

「境町健幸マイレージ」はスマートフォンあるいはパソコンの専用サイトから自身の情報を登録することで、食事や運動など各自の健康づくり、住民健診、町の健康教室やイベント等への参加で「境町健幸マイル」を貯めることができます。マイル数に応じて選べる賞品と交換できます。

(2) 健康ウォーキング（健康推進室）

町内を巡る約5kmのコースを、講師から境町の歴史についての説明を聴きながら、ウォーキングを実施します。

(3) 骨粗しょう症予防教室（健康推進室）

骨粗しょう症の治療についての専門医の講話と、骨粗しょう症や膝痛、腰痛予防のための体操を指導します。

(4) 糖尿病重症化予防教室（健康推進室）

特定保健指導の方でHbA1c6.5以上の方を対象に、食生活や日常生活の過ごし方と有酸素運動等を指導します。

(5) 予防接種事業（健康推進室）

高齢者は、インフルエンザや肺炎にかかると、重症化する割合が高く死亡の原因となることも多いため、感染症対策として予防接種費用の一部を助成します。

(6) 感染症対策

「境町新型コロナウイルス感染症対策本部」にて、発出された感染情報及び対策状況について、防災無線や防災アプリ、広報誌で、町民や介護事業所等に迅速に情報提供を行っています。

また、感染対策として、右記のポスターを町内の公共施設やスーパー等の商業施設に配布し、感染症予防対策の啓発を行っています。



▲配布しているポスター

2 介護予防事業

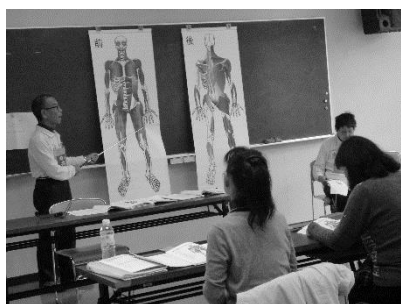
(1) シルバーリハビリ体操指導士養成事業

シルバーリハビリ体操は、茨城県で推進する介護予防体操であり、住民が住民を教える共助の仕組みで成り立っています。平成27年度より町の1級指導士を講師として、3級指導士の養成講座を開始しています。指導士取得後は、町内の体操教室にて体操の普及・啓発を行います。

今後も、継続して開催できるよう、指導士会との連携やシルバーリハビリ体操の周知に力を入れていきます。

◆事業の実績

項目	実績					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
開催回数 (回)	1	1	0	1	1	1
受講人数 (人)	13	3	0	6	5	3



◆町内体操実施場所

- ・自由参加 5カ所

コミュニティーホームあさひが丘	茨城西南医療センター病院
伏木文化センター	研修センター
ふれあいの里	

- ・いきいきクラブ 8カ所

染谷	山神町
若林蓮台	長井戸
宮本町	塚崎六軒
伏木中部	下砂井

シルバーリハビリ体操

茨城県立健康プラザの大田仁史氏が作った介護予防体操。茨城の全44市町村で行われており、全国にも広がっています。関節の柔軟性を高めて、筋肉を強化する体操、嚙下体操があります。椅子に座りながら、寝ながらでもできます。

第5節 安心して暮らせる環境を整える

1 多様な住まいの確保

(1) 養護老人ホーム

経済的理由及び環境上の理由などで、在宅生活が困難な高齢者を対象に、老人福祉法により、町が入所措置の決定を行い、自立した日常生活ができるように指導・助言を行います。

※介護保険施設ではない為、原則として、日常生活が自立しており、低所得の方が対象となります。

◆入所者数の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度 見込み
定員(人)	110	110	110
入所者数(人)	55	51	49
本町の入所者数(人)	5	5	4

(2) ケアハウス

ケアハウスは軽費老人ホームの一種で、心身機能の低下等により独立して生活することに不安があり、かつ家族による援助を受けることが困難な高齢者が入所できる施設です。食事や入浴等の介助、相談支援、機能訓練等のサービスがあります。

◆入所者数の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度 見込み
定員(人)	15	15	15
入所者数(人)	14	14	14
本町の入所者数(人)	6	5	7

(3) 生活管理指導短期宿泊事業（緊急ショートステイ）

虐待や生活困窮などにより、自宅で生活することが困難な高齢者を、利根老人ホーム、またはファミリー境に一時的に宿泊させ、必要な支援や指導を行います。

◆事業の実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度 見込み
利用者数(人)	2	1	1

2 災害に対する備え

(1) 避難行動要支援者名簿（社会福祉課）

災害対策基本法に基づき災害時に避難することが困難な方を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成しています。災害が発生した際や、災害の恐れがある時にこの名簿を活用して、安否確認や避難支援を行うものです。名簿情報の提供同意をいただいた方については、警察、消防、民生委員等へ名簿を提供しています。

(2) 福祉避難所の設置・運営（社会福祉課）

高齢者や、障害者その他特別な配慮を要する要配慮者を受け入れるための避難所施設です。当町では、災害発生時の要配慮者の受け入れについて、主に福祉施設等と協定を締結しています。

また、災害時において福祉避難所の速やかな開設および運営を行うことができるよう、福祉避難所担当課・係を定めておくなど、体制を整えています。

福祉避難所一覧

所在地区	名称	所在地
長田	社会福祉会館	長井戸 1681 番地 1
森戸	介護老人保健施設 夢彩の舎	若林 2269 番地 1
静	介護老人保険施設 境町メディカルピクニック	塚崎 2555 番地 1
静	特別養護老人ホーム ファミール境	塚崎 4864 番地

広域避難

境町は利根川や渡良瀬川が氾濫した場合、約 9 割が浸水域となると言われています。そのため、町内の指定避難所のほか、町外の親戚・知人宅や町外施設に避難するよう促しています。

水害対策として逃げ時マップを、さらに令和 2 年度はコロナ禍の中における避難のポイントを全戸配布し、住民に避難の重要性を伝えています。



3 認知症高齢者支援

(1) SOS ネットワーク

行方不明になる可能性のある方の名前や特徴、写真などの情報をあらかじめ登録しておくことで、早期発見に役立っています。

◆事業の実績

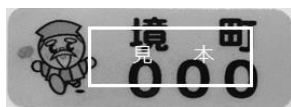
項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
新規登録者数 (人)	7	5	3	5	5	5
述べ人数 (人)	8	13	15	20	25	30

(2) おかえりマーク

徘徊のおそれがある高齢者を対象に、おかえりマークを配布しています。おかえりマークは登録番号が記載されたシールで、警察等に保護された際、登録番号から迅速に本人を特定し、ご家族に連絡することができます。(H30から開始)

◆事業の実績

項目	実績			見込み		
	H30年度	R元年度	R2年度 見込み	R3年度	R4年度	R5年度
新規登録者数 (人)	7	5	3	5	5	5
述べ人数 (人)	7	12	15	20	25	30



↑ 防水反射素材シール（蛍光黄色）



↑ アイロンシール

(3) 地域の見守り協定（社会福祉課）

一人暮らしの高齢者の方や障害のある方等、援護を必要としている方々が、安心して暮せる地域づくりや、安全な道路環境の確保を目的としています。

日常業務の中で要援護者の異変に気付いたとき、また、道路の陥没等の異常を発見したときに通報していただき、安全確保につなげるものです。

見守り協定締結一覧

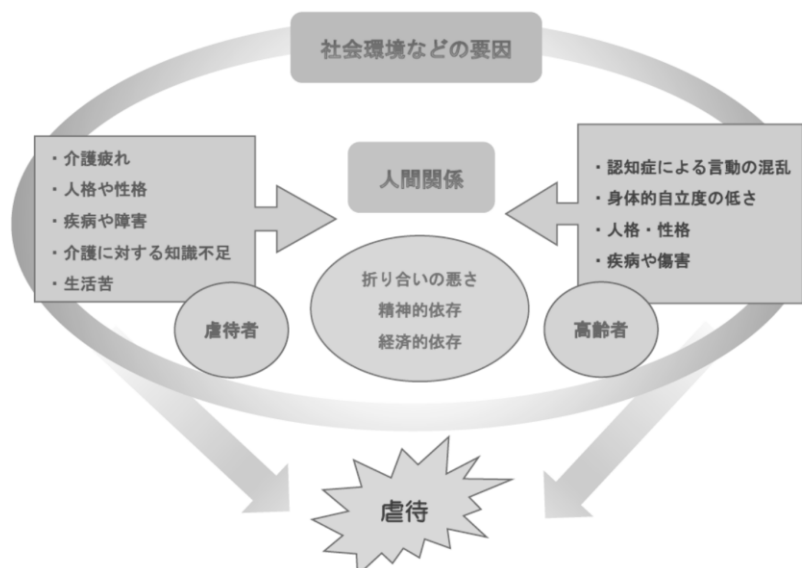
区分	事業者数	事業者名	協定締結日
生活協同組合	3	いばらきコープ生活協同組合	H26.1.22
		生活協同組合パルシステム	
		よつ葉生活協同組合	
金融機関	4	株式会社常陽銀行 境支店	H26.6.10
		株式会社筑波銀行 境支店	H26.10.15
		結城信用金庫 境支店	
		茨城県信用組合 境支店	
農業協同組合	1	茨城むつみ農業協同組合	

(4) 高齢者虐待防止対策事業

高齢者に対する虐待は増えており、近年大きな社会問題となっています。

高齢者の虐待を防ぐには、パンフレットや広報誌、町ホームページ等を活用し、知識の普及と啓発を図るとともに、「養護者による高齢者虐待の対応体制」による関係機関・団体等と連携協力し、高齢者虐待の早期発見・対応を図り、多面的な支援を行います。虐待通報や相談等を受けた場合、速やかに当該高齢者の状況を把握し、適切に対応します。

また、虐待の未然防止に向け、関係機関との連携強化により、養護者である家族の経済的・身体的負担の軽減を図るなど、家族の孤立防止や支援を推進します。



養護者による高齢者虐待への対応体制

